

第54回日本医療・病院管理学会学術総会

日時 平成 9月17日(土)8:30~21:00
28年 9月18日(日)8:30~18:00 (両日ともに受付 8:00より)

会場 東京医科歯科大学 M&D タワー鈴木章夫記念講堂

テーマ 創造的破壊～医療の質の向上と効率化の同時達成を目指して

プログラム [9月17日]

■あいさつ

学術総会長 川淵 孝一 東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授

■特別講演

「日本の財政と医療」

伊藤 元重 東京大学大学院経済学研究科・経済学部教授

■シンポジウム

「アベノミクスと医療の国際化」

座長：杉浦 哲郎 日本経済調査協会(日経調)専務理事

近藤 達也 (独)医薬品医療機器総合機構理事長 他

果たして、真の国際医療の事業化とは何か。重粒子線治療や漢方、さらにはインドでの病院事業や再生医療は成長産業になるのか。日経調の「救国のヘルスケア4+4策」のその後を追う。

「ビッグデータが私たちの医療・健康を変える！」

座長・基調報告：森川 博之 東京大学先端科学技術研究センター教授

落合 慈之 NTT東日本関東病院名誉院長 他

21世紀政策研究所研究プロジェクトに加えて人工知能を活用した転倒・転落防止対策や医療のトレイサビリティ、さらにはポストン・コンサルティング・グループの取り組みを披露する。

■ランチョンセミナー (予定)

宮澤 靖 一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事
社団法人近森会近森病院臨床栄養部部長

■パネルディスカッション

「働きやすい病院の共通点・ユニークな点」

座長：坂本 すが 公益財団法人日本看護協会会長

瀧野 敏子 NPO 法人イー・ジェイネット代表理事

武久 洋三 日本慢性期医療協会会長

上西 紀夫 公立昭和病院院長

日本長期急性期病床研究会会長

「働きやすい病院」とは何か。「ホスピタリティ」の認証を受けた病院を例にいかによれば医師や看護師が確保できるか評価者・被評価者の立場から検討する。

「医療と経営の質がわかる人材育成と専門性」

座長：伏見 清秀 東京医科歯科大学大学院医療政策情報学分野教授

すでに5000人以上の合格者が出ている医療経営士やPDCA医療クオリティマネージャー養成、さらには大阪市大社会人プロジェクトの取り組みを通じて、病院管理に関わる専門性とは何かを考える。

■市民公開講座

「腰痛革命」

菊地 臣一 福島県立大学理事長・学長

「胃がん撲滅を目指して～二十歳のピロリ菌チェック」

NPO法人「二十歳にピロリ菌チェックを推進する会」代表

村井 隆三 おなかクリニック院長

プログラム [9月18日]

■鼎談

「なぜ「異論」の出ない組織は間違えるのか？」

宇田 左近 ビジネス・ブレークスルー大学経営学部長 VS

島田 直樹 株式会社P&E ディレクションズ代表取締役社長

■教育講演

「東京オリンピック時代の医療ツーリズム」

寺前 秀一 帝京平成大学現代ライフ学部観光経営学科教授

■シンポジウム

「まちなか集積医療は実現可能か？」

座長：豊田 奈穂 総合研究開発機構(NIRA)主任研究員

伊藤 由希子 東京学芸大学人文社会科学系経済学分野准教授 他

病院を中心とする街づくりや地域医療連携推進法人など本当に実現可能なのか。「まちなか集積医療の提言」を紹介するとともに三重県松阪市における「三つ巴」の混戦状況をルポする。

「地域包括ケアシステムは日本になじむか？」

座長・基調報告 中山 和弘 聖路加国際大学看護学部教授

大木 哲 神奈川県大和市市長 他

一体全体、地域包括ケアの「成功の鍵」はどこにあるのか？在宅専門医・歯科医師を交えて医療・介護・保健分野が連携した「見える化」とヘルスリテラシーの向上を求めて『健康創造都市』を模索する。

■ランチョンセミナー (予定)

「医療データ統合・可視化と健康経営の紹介」 (ウイングアーク1st)

■パネルディスカッション

「良質の病院を廉価に建てる方法を模索する！」

座長：岩堀 幸司 東京医科歯科大学大学院非常勤講師

富永 芳徳 公立甲賀病院名誉院長

馬場 武彦 社会医療法人ペガサス理事長

資材高騰、人手不足の中でいかに病院建設費を圧縮するか、その具体的な手法について議論する。

「日本の医薬分業は患者のためになっているのか？」

座長：翁 百合 株式会社日本総合研究所副理事長

内閣府規制改革会議の答申を受けて、果たして市民目線の「かかりつけ薬局・薬剤師」が構築されたかを検証する。



学術総会の詳細は
ホームページを
ご覧ください

演題募集期間 平成28年6月1日～6月30日

<http://www.procomu.jp/jsha2016/>